

十字園だより

第130号



・さつき寮

調理実習

みんなで作る
ブルブルプリン



9月17日に、さつき寮の皆さんでおやつ作りをしました。ホイップクリーム、チョコレートのお菓子、カラフルなチョコチップなど、皆さん思い思いにプリンの上にトッピングを乗せていき、個性あふれるかわいいプリンがたくさん出来ました。美味しそうなトッピングをプリンに乗せる前に口元へ…なんて方もいました(笑)

皆さん美味しそうに、とても楽しそうにされていて、利用者の皆さん、職員ともに笑顔あふれるひと時となりました。(堀内)

園長挨拶

園長
古俣 健

日頃より当施設の運営、経営につきまして、皆様から多大なご理解とご支援をいただき心より感謝申し上げます。

さて、私事で恐縮でございますが、法人内組織変更のため、4月1日付で十字園から青松フークスに異動することになりました。ご利用者、ご家族には、いつも温かく見守っていただき、感謝の言葉しありません。また、この歴史ある十字園に勤務させていただきましては、私にとっても光栄なことと思っております。

十字園での4年間、私の目

標は、十字園の運営、経営を継続、発展させ地域貢献、社会貢献すること。そして十字園のご利用者、ご家族の幸せを願い、事業を進めていくこと。この二つを日々強く意識し、私なりに努めてきたつもりです。目標は百パーセント達成できませんでしたが、実行したいと思いつつも、できなかったこともありましたが、しかし、本当にありがたいことに多くの方々(ご利用者、ご家族、外部の関係者、そして十字園職員)の理解、協力を得て、目標の6割、7割程度は達成できたのではないかと、私自身勝手に自己評価しています。

最後に、本当にありがとうございました。十字園のご利用者、ご家族の益々の幸せを今後は十字園から30メートルしか離れていない青松フークスから、心より祈念しております。

日中活動について

障がい者支援施設において日中活動とは、施設を利用される方お一人おひとりが目標や目的にあわせた活動への参加を通して生活の中に楽しみや、張り合いを持つことだと言われています。

十字園でも健康状態や個性を尊重しながら日中活動の機会を個別に提案させてもらっています。それが皆さまにとって、有意義な時間になればと考えております。



課長補佐 平野 智也



活動としては、作業活動や創作活動、機能維持・向上活動が中心になります。その内容については、ご利用者の年齢層や身体状況、特性などを背景とした幅広いニーズにどのように応えるのかという課題もあります。

今年に入り、1月初旬には法人敷地内に「めぐみ」が移転しました。その活用も含めて、今後の日中活動の可能性を再検討することができればと考えています。

今年度もご利用者の笑顔、そしてご家族のご理解とご協力を頂きありがとうございました。

怪我や病気等でご利用者及びご家族の皆様にはご心配と、ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。その都度ご家族からは温かいお言葉を頂きありがとうございました。今後について心配や不安がありましたら、いつでも職員に声をかけて下さい。

来年度も引き続き、日々の活動の充実と余暇、そして環境面、重度高齢化の4本柱を中心に取り組んでいきたいと思えます。外の空気を吸い、季節を感じながら外を歩いたり、ドライブをしたり、美味しいものを食べたり、出かける機会を来年度も増やす事が出来ればと思えます。

今年度も色々ありがとうございました。来年度も引き続き宜しくお願い致します。

ひのき寮

主任 伊藤 孝之

行事

栄光の BBQロード



10月9日、気持ちの良い風が吹く中、紫雲寺公園キャンプ場にてBBQを行いました。外で食べるお肉を楽しみにしていたのか、みんな目を輝かせながら始まるのを待っていました。いざ肉を焼き始めると「お肉を早く皿に入れて」と言わんばかりに真剣な表情で見つめていました。気付けばたくさん買っておいたはずのお肉がほとんどなくなっていました。帰りの車ではみんな気持ち良さそうに眠る方も…。楽しい1日になりました。(吉田政)



MOYUGAEMOYUGAEMOYOU MOYUGAEMOYUGAEM 模様替え

ひのき寮では皆様が過ごし易いよう環境を整えて参りました。

大きく変わった点はダイルールの模様替えです。より家庭的な雰囲気の中で過ごして頂きたいという思いでテレビとソファの位置を変更しました。ご家庭のリビングをイメージしております。また、壁面に季節の装飾を施して季節感が出るように配慮しております。

来年度も支援と環境の両面から利用者の皆様の生活をサポートして参ります。(伊東)



模様替え

MOYUGAEMOYUGAEM

今年度は、『身体を動かす機会を提供する』『外出等の余暇支援の充実を図る』『寮内での過ごし易い環境を作る』という目標を掲げ、取り組んできました。週末には、近くのコンビニまで歩いて買い物に出掛けたり、コミュニティバスを利用してレストランへ出掛けたりすることもできました。ご利用者からは週末を楽しみにする声が聞かれるようになりました。楽しみながら体を動かし、余暇活動への期待が増え生活がより充実したように思います。

来年度も皆さんの要望を第一に考え、生活がより良くなることを目指して取り組んでいきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

いぶき寮

主任 引原 望武

行事

YOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOUJIGYOU



自然科学館へ



9月6日に自然科学館へ行ってきました。恐竜のロボットや動物の剥製や化石など、普段なかなか見ることのできない不思議なものや面白いものが多く展示されており、皆さんとても驚かれていました。

お昼には館内のレストランでカレーライスや pasta をお腹いっぱい召し上がりました。貴重な体験をすることができ、笑顔溢れる外出となりました。(伊藤ゆ)



創作活動

いぶき寮では創作活動を行っています。梅雨の時期には晴れを祈り、てるてる坊主を作成しました。皆さんにいろがみを選んでもらい、丸めて袋に詰めます。そして顔のシールを貼ると、世界にたった一つのオリジナルてるてる坊主の完成です。



完成後、装飾として寮内に飾ると「てるてる坊主だね。」と指さして皆さん微笑みます。今後も季節に応じた装飾で寮内に四季を取り入れていきます。(樋浦)

今年度も寮運営にご協力をいただき有難うございました。昨年は発想と転換は物事において大切な事だと改めて思った出来事がありました。これまで、寮内で季節感のある壁面飾りなどを行っても、利用者さんの障がい特性からすぐに剥がされていきました。そんなある日の事、美術部だったという実習生さんが、大きな窓に時節柄の絵を描いてくれた事により、無機質な空間に「ぱっと」華が咲いたように明るくなったように感じました。

豊富な発想から工夫し着想に結ぶ事は支援において重要だと考えておりますので、自由な発想力も一要素として、来年度もスタッフ一同取り組んでまいります。

けやき寮

主任 高橋 正人

行事

食欲の秋はぶどう狩り

10月。食欲の秋真っ盛り。けやき寮の5名様は、初のぶどう狩りへ出発。十字園御用達の白根グレープガーデンにて、いざ、一房もぎ取り体験。目移りしそうな程たくさん実ったぶどう棚で、「わ〜！」と歓声。美味しそうなぶどうを一房ずつもぎ取って、帰りのお土産に持ち帰りました。

昼食は、ラーメン、カツカレー、中華丼など皆様それぞれ大好物のメニューを選択。最後はコーヒーで一息。心もお腹も満たされた、食欲の秋なのでした。(布施)



新しい利用者さんをご紹介します



土屋 一之さん

皆さん、こんにちは。2月16日に村上の「やまやの里」から来ました。

好きなことはドライブや音楽を聴くこと、体操、ダンス、カラオケです。

これから多くの人たちと関わり楽しく過ごしていきたいので声掛けてくださいね。よろしくお願いします。

極上の癒し

こんにちは。けやき寮で勤務している加藤です。

日々、家庭と仕事に追われている私ですが、仕事中の密かな癒しを見つけてしまいました。

利用者さんの笑顔を見た時にそのホッとしたり温かい気持ちは現れます。普段あまり笑わない利用者さんが笑顔を見せてくれた時には、それはもう何とも言えない極上の癒しをプレゼントしてもらった気持ちになります。

毎日その癒しを求めて、日々頑張っています。(加藤)



家族会 研修会について

高橋 正人

昨年11月11日に、はやし社
会福祉士事務所代表の林正海
さんを講師としてお招きし、
「成年後見制度の活用方法」
というテーマで研修会が開催
されました。

今までも家族会の中で成年
後見制度の内容については講
習をされてきましたが、今回
の講師の林さんは当園のご利



用者のご家族両方の後見人を
受任された経験談も交えなが
ら分かりやすく講演をして下
さいました。参加されたご家
族からも、とても好評でした。
私達職員にとっても貴重な研
修の機会となり、大変理解を
深める場になりました。

今後も益々、ご家族のみな
さまと私達職員も知識を深め、
ご利用者の権利を守る一助と
なるよう努めてまいります。

理学療法士の業務について

理学療法士 奈良 沙綾香

6月より理学
療法士として勤
務している奈良
と申します。

十字園では、
関節を動かす運
動や、立ち上が
り・歩行・階段
昇降の練習等の
個別訓練を必要
な方に行っています。



入所施設では、個別訓練だけがリハ
ビリではなく、日々の生活そのものが
リハビリとなるため、食事や入浴、排
泄など生活にも介入し、ご自分の力を
発揮してもらいながら、安全に日常生



活が行なえるよ
う支援していま
す。
十字園のご利
用者のみなさま
が生き生きとご
自分らしく生活
できる助となれ
るよう、今後も
務めていきたい
と思います。

ボランティア通信

♪音楽ボランティア♪

※園ではボランティアさんを募集しています。自
分の趣味を生きたい！空いている時間を利用
したい！等気になる方は「ボランティア係」ま
でお問い合わせ下さい。(藤田 翼)



童謡やアニメソングをピアノで演奏し
て下さいます。みんなでタンバリンやマ
ラカスを持ちながら元気よく大きな声で
歌いました。普段とは違った表情で皆さ
んととても大喜び。

また来て下さるのをお待ちしております。
ありがとうございました。